発行 全国商工会議所青年部連合会
東京都千代田区丸の内3－2－2
日本商工会議所中小企業振興部内
☎03-283-7847
編集 広報委員会

翔生（しょうせい）

平成2年（1990年）
3月1日号
通巻 第3号
（年2回 3月・10月発行）

第12回通常会員総会

CIを導入、推進へ

7月に〝海外研修〟を実施

全国商工会議所青年部連合会の第十二回通常会員総会が二月七日、東京都千代田区の「東京国際フォーラム」で開かれ、「新しい時代の青年部活動」をテーマとするスローガンのもとで開かれました。この総会では、平成二年度事業計画（案）、四年度予算（案）を審議、いずれも原案通りの承認されました。特に、二年度は特別事業の一環として海外研修を企画、また、二年度から特別委員会を設置してCI（コーポレートアイデンティティー）の導入・推進を図ることなどが決まりました。

▶新年度に向けて抱負を述べる小林会長代行

事業計画など承認

総会では、会員青年部の代表者を迎え、会員青年部の代表者を迎え、四年度予算が提出され、二十八日、まず、前年度の活動報告として、平成元年度事業計画（案）、四年度予算（案）を審議、いずれも原案通りの承認されました。

この中で、二年度の事業計画（案）については、「海外研修」を実施することなどが決まりました。

また、二年度から特別委員会を設置してCI（コーポレートアイデンティティー）の導入・推進を図ることなどが決まりました。

平成2年度 会長あいさつ

平成2年度会長
小林 幹生

第十二回通常会員総会を開催、代の時代を迎えられ、本年度も多くなることでありますことに、皆様の皆さまに年の明けまして、新春をお慶び申し上げます。

平成二年、二十世紀も余すところ、あと十年、今、まさに世界、そして日本を取り巻く環境は大きなうねりとなって変化しております。東西ドイツの統一をはじめ、東欧諸国の急速な変化、中国の天安門事件等、世界各地は激動する中で、わが日本も新しい平成時代を迎え、政治、経済、文化

第十二回通常会員総会を開催、代の時代を迎えられ、本年度も多くなることでありますことに、皆様の皆さまに年の明けまして、新春をお慶び申し上げます。

平成二年、二十世紀も余すところ、あと十年、今、まさに世界、そして日本を取り巻く環境は大きなうねりとなって変化しております。東西ドイツの統一をはじめ、東欧諸国の急速な変化、中国の天安門事件等、世界各地は激動する中で、わが日本も新しい平成時代を迎え、政治、経済、文化

今、全ての分野で変革が求められています。

世界第二位の経済大国となったわが国は、東京を国際金融センターとするなど、世界の中の日本としての自覚と国際的な貢献、また、地域社会の一員としての責任を果たすことが、まさに、地域社会の一員としての責任を果たすことが、まさに、地域社会の一員としての責任を果たすことが、まさに

第9回全国大会報告

第9回商工会議所青年部全国大会を、全国から1,752人の青年経済人の参加を得て、11月16、17の両日、高知市で開催した。

メインである大会式典は17日、高知市市民田のちばさんセンターで、日本商工会議所の石川会頭、中内高知県知事らをお招きして、「結びよう友情の輪　創ろう新時代の日本」という平成元年度のスローガンに即した活動の展開を確認し合った。

全国大会の高知での開催は、高知商工会議所青年部の初代会長・宮地睦夫らによる財界方面への積極的な働きかけとPRによって2年前、平成元年度の大会誘致にこぎつけたもので、当日には青年部の現役、OB会員の一致協力があった。

大会当日、歓迎の挨拶に立った高知県庁の和田会長は、大会誘致決定から開催までの2年間、PRのため全国各地を訪問した際の思い出にふれ、「目的、志を同じくする数多くの友との出会いは、何ものにも変えがたい貴重な財産となった」と、感激を新たにしていた。

▲会場の拍手に応える石川日商会頭

現在、全国494の商工会議所のうち525カ所に青年部が設置されており、その各々が地域に根差した数々の事業を展開し、商工会議所活動の一翼を担っていると自負している。

そして、わが国の社会、経済のあり方が問題とされ、構造の変革を迫られている今日、母体である商工会議所が果たすべき役割が重要になるに従って、青年部の役割も重要になってきている。

日商の石川会頭からは、こういった状況を踏み、「自らの地域の枠を超えて結束し、その交流の輪をさらに広げることで、青年部の力をより一層強固なものにしていくことが、ますます必要だ」という激励の言葉をいただいた。

▲坂本龍馬分科会Ⅱ

坂本龍馬分科会Ⅱ（於・専門部）

座長　高田　康夫氏

高知県文化財団保護連絡協議会会長

維新動乱の時代に活躍した坂本龍馬をはじめとする志士たち。その青春の軌跡をたどるとともに、その行動と論理を現代の企業人に置き換えて追求した。

そして、時代は自由民権の時代へと移行する。「自由は土佐の山間より」といわれるように、板垣退助、中江兆民ら幾多の思想家を生んだ土佐の地で、自由の本来の意味を語り合った。

会場は、作家・宮尾登美子の「櫂歌」の舞台となった料亭。

座敷になった青年たちの高歌放吟は深夜まで続いた。

「土佐弁はおいげよメ」。

工業・地域開発分科会

（於・ホテルサンルート高知）

座長　富澤　信央氏

茨城県商業振興課

泉　第一氏

食料商品研究所客員

「休暇と生産のバランス」、ともすれば相反するテーマに挑戦するこの2つ、講演氏は、双方の持つ本来の意義とわれわれ青年経済人としてかかわりやすい取り方を可能してくれた。

「高知におけるウォーターフロント計画」。ご承知の通り、日本最大の土佐湾、市街地ろ太平洋は、豊かな恵みと環境を与えてくれる。その貴重な財産、自然を尊重しながら今、ウォーターフロント開発計画が着々と進んでいる。

発表は、世界的にも著名な食料商品研究所客員として、日本各地の地域開発プロジェクトに携わってこられている、時代の豊富な体験の蓄積は、われわれをうならせた。

▲工業・地域開発分科会

▲商業分科会

商業分科会

（於・高知新阪急ホテル）

座長　中村　康一氏

㈱サニーマート代表取締役

講師　増田　宗昭氏

カルチャーコンビニエンス

クラブ㈱代表取締役

増田氏は、「これからの差別化戦略」について、自らの事業展開を例に、競合が激化する流通における生き残りと、さらには成長のための差別化戦略について熱心に語っていただいた。

出席者は自己の企業経営に役立てようと熱心にメモを取ったり、鋭い質問等、青年経済人らしい真剣で、迫力ある分科会であった。

懇親会では、座長と講師を囲み、明日の商業人について語り合う大きな輪ができた。

坂本龍馬Ⅰ・国際交流分科会

（於・サンライズホテル）

講師　畑山　昌志氏

土佐清水市教育長

橋本　英建氏

龍馬生誕150年記念事業

実行委員会副委員長

講演に当たっては、ロシア歴史研究のオーソリティーであり、米国マサチューセッツ州のニューベッドフォード、フォアベプン市と友好都市である土佐清水市を姉妹都市提携へと導かれた畑山氏よりグローバルな視点の必要性が説かれた。

続いて、橋本氏からは自らが結成して始まった建設運動の道のりについて、苦労話も交えながら、話していただいた。

▲坂本龍馬Ⅰ・国際交流分科会

商工会議所ものがたり

明治の初めから、わが国経済をリードしてきた商工会議所は昭和二十八年、地域総合経済団体としての役割を従来以上に発揮できるよう、現行の「商工会議所法」が制定され、今日に至っている。以来、産業を取巻く環境変化の中で、商工会議所は「企業を育て、地域を伸ばす」を合言葉に、地域社会の発展のため一歩一歩、着実に歩みを進めてきている。

バークスとの会話

わが国に商工会議所が設立されたのは、明治十一年（一八七八年）で、それには一つのエピソードがある。

当時、日本と諸外国との間には不平等条約が結ばれており、わが国が発展していくうえで、大きな障害となっていた。

ある時、内務卿であった伊藤博文らがイギリス公使のパークスに、こうロコた。「不平等な条約の改正は国民の悲願である」と。

そうすると、パークス公使は、「それは、おかしい。日本には商工会議所もないのに、どうして国民の意思が分かるのか。そんな使れな方法があるなら、後学のために教えていただきたい」

これに対し、伊藤内務卿らは返答がなかったという。

殖産興業を合言葉に

欧米には、「チェンバー・オブ・コマース」（商業会議所）という団体があり、これが世論を代表する役目を果たしていた。

そこで、イギリス公使のパークスから「日本には団体があるのか」と言われたのが発端とされ、日本にもそうした機関の創設が必要だと痛感させられたわけである。

ちょうどその頃、明治維二は政の緒内から商工会議所をつくることが必要だと考えていた。

というのは、明治政府が殖産興業を合言葉に、早く欧米先進国に追いつかれようと、国民の誰しもが真剣に考えていたからである。

海外に目を向けていた明治維一は、外国の商業会議所が重要の役割を果たしていることを知って、産業を興し、日本を先進国家の仲間入りさせるためには、どうしても商工会議所が必要だと考えたのである。

わが国に、初めて商工会議所が設立されたのは明治十一年、それから百十年余を経た現在、全国の商工会議所数は四百五十四、総会員数は百三十四万。商工会議所は、この力を結集し、百年以上の歴史と伝統を誇かし、わが国の発展に貢献している。以下で、わが国に商工会議所が出来た経緯等、エピソードを交えて紹介しよう。

憲法や国会より古い歴史

明治の初期を通じ、日本による商工業者の組織を作ろうとする動きは、上と考えた岩倉使節一は、産業界の人たちと協力して商工会議所の設立に乗き出した。近代産業の育成、不平等条約の改正を成し遂げ、これを強力にバック・アップしたことはいうまもない。

ようやく、関係者の努力が実り、明治十一年三月、わが国最初の商工会議所が東京に設立された。次いで同年八月に大阪、十月に神戸に設立された。こうして設立された商工会議所がその後、目ざましい活動を展開するにつれて、全国の各都市や商工会議所の設立が相次いだ。

ところで、明治十一年といえば西南戦争の翌年で、日本の夜明けの頃である。産業経済の面に動乱があり、その取り押さえなる商工会議所が誕生したのは必然の成り行きであったといえる。

ちなみに、憲法発布が明治二十二年、第一回の衆議院選挙が開催されたのは同二十三年のことだから、商工会議所の古い伝統がうかがえる。

会議所には2つのタイプ

世界の商業会議所には、二つのタイプがある。

一つは、アメリカやイギリスで発達したマルセイユ商業会議所の流れをくむもので、一七〇〇年代の後半に設置したものである。この特徴は、商工業者自らが任意に集まって商工業の発展を目的とする団体だということである。

もう一つは、ヨーロッパ大陸で発達したもので、ハンリー四世、ルイ十三世時代に商業会議所があったが、当時作られたものは一七〇〇年頃、ルイ十四世の時代にフランスにおいてドイツ、イタリア、オランダなどの国々にも広まったものである。

その特徴は、商工業者の法的代表機関として政府の諮問に応じるなど、行政機構の補助機関的性格を持っていることである。

わが国の場合は、既立当初は民業主体、明治の後半から戦前まではヨーロッパ型、そして戦後は一部大都市の物産を持たないなら、どちらかといえば半官半民の制度をとっている。

商工会議所の名称

わが国では現在、商工会議所という名称を使用しているが、欧米では商業会議所という呼び方が普通。それは、フランスのマルセイユに設立した世界最古の会議所が、商人ギルドたちの話し合いの中から発生したという歴史的経緯によるものである。この名称がその後、世界各地に広まっていった。

ところで、わが国で会議所が誕生したのは明治十一年、この最初の会議所は、商業会議所という名称を使っていた。というこ、欧米とわが国とは違った名称を使っていたように思われるが、実はこれが深い意味なのである。

それは、「欧米の商人たちはいわれるまでもなく、当時、「商人」という言葉は、商売人の意味と同じ意味に使われていたからである。つまり、商業会議所（チェンバー・オブ・コマース）が発足であったわけである。

その後、商業会議所という名称は、時代の変遷とともに変更されの、今日では「商工会議所」と呼ばれるようになった。

若手経営者に期待する

経済界に新風を

別府商工会議所　会頭　友永　文月

現在、わが国経済は高度成長期、個人消費の三本柱を中心として安定した経済成長にあり、景気動向は明るいものがある。しかしながら、中小企業を取り巻く環境は円高、技術革新、情報化など厳しい状況にある。

このような情勢下において、別府商工会議所は設立六十周年を迎え、地域内の商工業者の総合的な発展を実現し、社会一般の福祉の増進に貢献するという目的に向かって積極的に活動しているところであるが、地域社会の新構成である商工会議所の果たす役割はますます重要になってくる。

また、それと同時に、次代の地域経済を担い、そのリーダーとなるべき若い人たちによって設置された商工会議所青年部は重要な存在であり、ひいては地域社会の発展に貢献するものと思われる。

これは、まさに青年部の標語「商工会議所青年部は、地域社会の最全な発展を図る商工会議所の新鮮な力」を合言葉に、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展のさきがけ、新しい文化的風土をも、ともに歩み、より良いまちづくりに貢献することになるものである。

青年部、別府商工会議所青年部の本部による第九回九州ブロック連絡協議会が開催されたが、全国でも最多の参加者を数えたことは、日本経済が一極集中型から多極分散型へ向かうなかで、これから経済力の時代を担う若手経営者としての貴重な存在であるといわれる中にあって、青年部員が何事にも積極的に参加し、異業種交流により多くの人との出会いの中から情報を収集し、自己研鑽に励もうという意識の現れであると思う。

いろんな業種のカベの壁を打破し積極的に参加、今まで知らなかったことを見聞し見聞を広めることは、結果に経営者としての貴重の糧につながるものであり、不断しない経済環境の変化にも敏速に対応できる不動となるのである。

生馬代を迎えて、きた世代を守っていくためには、後ばあわりず、その時代に適応した新しい経営感覚が必要になってきているのである。

現在、東欧諸国では民主化の波が押し寄せ、平和への新風が吹き寄せてきて世界が緊張に変わろうとしている。日本においては、大幅な貿易収支の黒字に対しと諸外国の圧力が増ますます強くなって古い、その要求を迫られている。このような時代に勢力の新陳代謝に貢献していくには、個々の企業の果敢はもちろんのこと、人材が育ちしっかりと伸びて、時ならず、働ける場所であり、魅力ある街であることが大切であると思う。

これからの日本の将来を担っている若手経営者たち、その果たすべき役割を自覚し、経済界に新風を吹き込むことを期待したい。

■平成2年度の事業計画■

1、組織の拡充・強化
商業者と各地商工会の結束力の強化のため、組織率の向上を図る
(1)商業者組織率向上の推進
(2)各地青年部の結成促進
(3)ブロック別連絡協議会設置の会議の開催
(4)新出青年部連絡会の開催と運営
(5)青年部の開催

2、研修・研究活動の充実
青年部員達者方に青年経営者としての資質向上を図り、会社や会員相互の連絡と親睦を深めるための事業を行う
(1)中央研修会の開催
(2)視察・異業種及び地域間交流の促進
(3)講演会の開催
(4)新出青年部連絡会の開催と運営
(5)会議の開催

3、広報活動の推進
青年部活動の活発化を図るため、各地青年部の情報交換を図るとともに、青年部活動を積極的に広報する
(1)機関紙「青年」の発行・配布
(2)日本商工会議所発行の「会議所ニュース」「百年」の活用

4、主催会議・交流会の開催
商業者の連合から青年経営者と各地商工会議所青年部の会員を集めるための事業を行う
(1)会員総会及び役員会の開催
(2)青年部会長・出席は役員との交流会の開催
(3)全国大会の開催

5、政策提言活動の推進
日本らしい社会環境の変化に対応し、必要に応じて関係方面に提言・要望活動を行う

6、CI（コーポレートアイデンティティー）の導入と普及の推進
これまでに打ち出された「商工会議所青年部の「標語」「目的」および「青年部の意図」を基に、これをさらに簡潔にして、シンプルでわかりやすい商工会議所青年部のロゴ・マークの作成を行う。

"いきいき、日本列島青年部

岩手県連合会

連合会設立総会開く

全国四十四番目の連合会として、岩手県連合会の設立総会が、去二月十日、盛岡市内で開かれた。これまで、岩手県内の青年部は、三月二十六日、盛岡市内で、県内の青年部の連合会の設立を目的として、「岩手県商工会議所青年部連合会」を発足させ、その中心となって、青年部の活動を行なっていた。今回は、これらの活動の中から、新たな組織として、岩手県連合会の設立を目的として、「岩手県商工会議所青年部連合会」の設立総会が、盛岡市内で開かれた。

当日は、県内の青年部の代表者、約二百人が参加した。来賓として、県知事、盛岡市長、県議会議員、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県中小企業家同友会、県青年会議所、県青年部連合会、県青年会、県青年部、県青年部連合会、県青年部、県青年部、県青年部

女性会員の目から見た青年部

今日、お会のあらゆる分野への女性の進出は目覚しく、そのサンスに圧倒力は強く、ますます大きな影響力を発揮してゆくと思われる。一方、各地の青年部でお約二百人（全体の約二％）の女性会員が活躍しているが、そこで、「女性会員の目から見た青年部」と題し、茨城（北海道）、富山（富山県）、広島（静岡県）、高知（高知県）の四青年部の女性会員から青年部活動を通して感じたこと等について、書いていただいた。

女性会員の増強に力を注ぐ

奥明青年部
星川　あけみ

先に、自己紹介からさせていただきます。独身三十を越え、お嫁なら無しまれる年齢に達した私は、セットに、スナック（業種不明）を経営しており、会員の約部会員所属して居ります。

私が青年部に入会したのは、今から二年半ほど前、青年部のメンバーが会議時、後の同僚に、さそ勧用していただいておりましたが、そのことで、メンバーの人たちが酔っ上手いで、「青年部に入れ！」、入らなかったらと、この頃はまないぞ……になる上手かされながら、青年部活動の力強さ、ものすごくいい。

まず入会したものの、わもたる分からないまま、初めて会合に出席したのが七月のビール例会でした。

この例会は文字通り、真夏の一夜を涼いビールを飲みながら、楽しいひとときを過ごすという主旨のものでした。

この時は、何の既成も知らず参加することができましたが、その後、会員総会、新年例会等は別として、毎月会合（役員）には欠席のケースが多く、何度に参加しているのは……と、恥になっているのが現状です。

ただ、これまで一年半という短期間ではありますが、青年部活動を通して感じたことは、当青年部の女性会員は会員総数八十二人中、私を含めて二人のみです。

あまりにも女性が少なく、連帯感はないと考えます。

よって、「読み」、「ゲーム」コ内容から言葉をつくれないイイ方等が出れ、それが女性だけあるケースがしばしばあるを聞いております。

八十数人の大所帯の中で、女性の意見が少しでも取られる機運になるよう願っております。

今後は微力ながら、私自身も会員の増強に力を注ぐとともに、足手まといにならぬ会員として努めて参りたいと思っております。

以上、個人的所感の一端を述べて、ペンを置くことにします。

会員はみな〝兄弟〟と思う

富山青年部会
秋岡　二美子

広島中しました、自分が青年部に女性として参加したことは、うれしいです。会員のみなさんに見つっております。

入会は、主人の本業後でした。代表に出席したり、家族参加したり、助なしみも同期生が増えたりで、青年部に注目しみがありました。

第山青年部の女性会員第一号として、われ、別の活動はかりのことだ、しばらくは、意見交換ありませんでした。

「何か力をかせ、よい意見ないか」、人材、仕事であるべい、そのための努力を惜しみなく」という思いは、同じです。ですから、女性としての二重苦といった方が……。

青年部に、各家庭会員の基本力が、と事業計画が計されます。年度ごとに別の会員会員なる場合もあり、よりよい会員の方と活動提起をしていくことができる。もはいくつかの団体を活ごこ手を出しているので、無理はせず、しかし意欲的に行事に参加したいと思っております。青年部の利のあるまでもなく、

青年部の会員数

（平成2年1月現在）

	男	女	計
	二百七十九人（二百七十七人）	二人（二人）	二百八十一人（二百七十九人）

女性会員の多い青年部

（平成2年1月現在）

1	大崎（宮城県）	八人（二人）	八人（二人）
2	白石（宮城県）	一四人（一人）	一四人（一人）
3	郡山（福島県） 鳥取（鳥取県）	八人（二人） 八人（一人）	八人（二人）
4	宮島（広島県）	七人（二人）	七人（二人）
5	武生（福井県） 日田（大分県）	五人（二人） 五人（二人）	五人（二人）

※（　）内は総会員数

メンバーと会える充実の時

浜松青年部
石野　美恵子

私は昭和六十二年七月、開発プロック連絡協議会を受けての会員拡大部員の一人として、平野会長さん、ブロック会長三重さんに誘われて、入会し、組織委員会に所属しました。

大会を成功させるためのチームの結成により、やがて会員同士の親睦も深まり、以上のに、互いの共でコミュニケーションがとれるようになりました。仕事で疲れてイライラしてもメンバーと会うことによって楽しく話題がすっかり忘れ、明日の活力の源ともなりました。明年会員が多くなってきたことなどで一昨年、浜山の名物「おろっちゃ祭り」でエスの担当を受け、予算、会計等、主導、そしてその後の行動と、女性子たちの母親として接しとと、昨年のホームスティで、かわいい二人の女の子のお世話ができたこと等、とてもムに残っています。

単純に会員だけでなく、地域性と文化に通じた豊かな地域社会づくりに、青年部会員だけは力を発揮

全国女性会員と交流の場を

高知青年部
河野　美穂

青年部の活動の全国大会は、各地からたくさんの方にお集まりいただきまして、いろいろな交流できまして、「嬉しかったこと」、「楽しかったこと」、「悲しかったこと」、「くやしかったこと」、「ありがとう」ございました。

全国大会は、また青年部員さまと親睦しきっていない状態での参加でしたが、でも、大会を通して、親睦のことは、私に大きな活動をさせてくれました。そして、この大会に参加させていただけたことを感謝しています。これまでの私は、自分の周辺や部活のことばかりでしたが、この回、もっと青年部活動の理解と、意識を、積極的に活動に参加していきたい、女の私ら少しは何かはじめようと考え始めました。

私のセットは二年半前、同事も二年半前の頃の、それがきっかけであり、何力への過去と現在の、実は私、はっきり知るいろいろ話られるのですが、これが時として、疲れちゃいやいやして、そんな時、自分に、二年半前、二年半前になれ、と言って奮起してきたものです。また、また世の中をかかっていない私です、自分に何ができるかもわかりません、でも、青年活動にはたくさんの出会を感じがいらっしゃいます。その方々の、指導のもと、仕事にも疲れに、少しでも活性できればと思っています。

最後に、全国的には青年部の女性会員が、百人余いるを聞きました。ぜひ、交流できる場を作れれば、通います。女性同志、まだ何か通った動が生まれるのではないでしょうか。

とり、特、女性会員（現在十三人）の会員の集である「ブルメ・ユープ」は、会合を通じて共通の体験を語り合い、真いの心のふれ合いの場となり、真に分かり合える友人関係と発展しました。青年部に入り、様々な活動、地域奉仕、そしてそれらのレベルアップ、そして、自己の成長を通じて、自己の成長と社会に対する責任感、そして、自己の成長と社会に対する責任感、そして、自己の成長と社会に対する責任感、そして

平成元年度を振り返って

商青連会長・石川正一

石川正一会長

青年経済人の活力に期待

わが国経済は、世界一を誇りする経済力に下支えの進むなかで、国際的な企業の出現と多角的投資による。国際間での競争のシェイ進しく、心配した為換決済面や貿易摩擦、市場開放等の問題に比較的影響もなく、経済活力が強いています。内面を大部分の確立とまって、内閣主導型経済への動向を注視せず、かつての「いざ鎌倉」に比較する大型問題の発生とされています。

しかしながら、輸出産業の高い製品や世界的な知識産業としている知識、「産業技術」の商業を通るこという知識は、行政改革にするなられた「産業政策」の変革で、円高のアジアNIESの追い上げ等によって依然として厳しい経済環境にあり、新製品の開発や販売業への移行等、本業の中・西しの新産業の導入による新分野の開拓等が強いなされています。

新しい時代の産業がなかなか育成完結後の企業を取り巻く経済環境は、かつてない変革を迫られており、今までの経験に頼る法から、また既存の概念にとらわれない新たな発想によって、二十一世紀に向けて新しい挑戦をしていかなければなりません。

また、産業経済政策を進めるために、「世界の経済大国」へと成長し、海外の経済生活における国際的な責務が高まる中、「人」、「人が心の豊かさを求めるこの時代に、「人」、「人が心の豊かさを求める」ことに対応するための「ゆとり」の課題

第10回全国大会

11月16～17日、浜松で

平成2年度の全国大会は11月16、17の2日間にわたり、静岡県浜松市で開催される。前期から始まったこの大会、高岡、大分、水戸、福井、福島、沖縄、山口、高知と続き、今回は10回目と、記念すべき大会となる。主管する静岡県連では昨年4月から準備委員会を設置し、開催に向けて鋭意取り組んでいる。記念講演には未来学者のアルビン・トフラー氏を招請、国際色を帯びた大会となりそうだ。そこで、第10回大会の内容について、その一端を紹介していただいた。

全国大会の会場となる「グランドホテル浜松」

二十世紀最後の十年の幕開けの年、平成二年十一月十六日(金)、十七日(土)の二日間、静岡県浜松市で全国大会が開催される。記念すべき十回大会である。

「激動を迎える世紀末」にふさわしい、国内外情勢と感覚的な情報に揺れた、エネルギッシュで感動的な大会にしたい。そんな意気込みで、昨年四月より「全国大会推進委員会」を組織し、熱心に協議を繰り返してきた。

今回の大会のメインは言うまでも記念講演。世界的に注目されているフューチャリストであるアルビン・トフラー氏を招いてのものである。

アルビン・トフラー氏は一九七〇年に「未来の衝撃」、一九八〇年に「第三の波」を発刊、あれから十年―、今日の九〇年代は十年ぶりに「パワーシフト」なる新刊を出版中。トフラーキャンペーンも世界的である。

二十世紀末最後の十年を夢とロマンあふれるアイデンティティーの形成の年と位置づけた点、チェルノブイリの経験に向けるエネルギー、母光、地球環境の貴重な存在に強く訴えるコンセプトをプレゼンテーションする年だ。

全国のエネルギッシュな連盟、数万会員の輪と、この記念講演を通じて、「さあ、ふれあい、交流」をテーマに、ボリュームロビー会場が熱気の渦に。

アトリューム・ロビーは、都市でいえばセントラルパーク、緑に囲まれたインステージでは、きらびやかなショーや熱唱の祭りの大舞台がある。熱のほとばしりの祭り、エネルギッシュに踊り、友情の輪をひろげましょう。

アトリューム・ロビーから見る展望台への通路には、ストリートギャラリーを設置。全国各地、各コーナーを楽しみながら、ウィンドウショッピングを楽しめる。一、ホイヤレーコーナー、展望台にはカジノコーナー、最高の音楽とはカラオケコーナーなど、また会員の中から抽選により、毎日、毎夜、会場の雰囲気を盛り上げるコーナーを設置する。

記念講演の講師となるアルビン・トフラー氏

アルビン・トフラー（Alvin Toffler）。一九二八年、ニューヨーク市生まれ。ニューヨーク大学卒業後、「フォーチュン」誌編集員を務め、コーネル大学社会学部を経て、ロックフェラー財団、AT&T顧問を務めるなど、七〇年にベストセラーとなった「未来の衝撃」を発表、八〇年には第三の波を発表し、既存社会になるほど各分野に衝撃をあたえ、特色ある「パワーシフト」を発刊。

エキスカーションは、静岡県西部の観光地、中部地方には類まれな美しさ、高原に位置する山、海、田、伊豆半島など、盛りだくさんの内容。

また、観光協会の協力を得、豊富な資源を有効に活用し、地元連盟は各関係の風物と新しい人物にふれていただいて、大会の感動をわかちあえる時に努力してきます。

大会への参加をよりよいものとしたいと思います。

編集後記

平成二年二月十一日、ナラウンド（仕）十三戦、マイク・タイソン対ジェームス・ダグラスによるプロボクシングの世界ヘビー級タイトルマッチの試合で、よもの「番」タイソンが「KO」されたことを見ていると、しばらくはしびれを感じている。が、同じ番組で、「ボクシングは、人間の尊厳を傷つけるものだ」と訴えた、ある人がいたっけ。

さて、今日の日本経済に暗き影を落とすと、「新しい大学設置」だと騒いで、金権政治は、神経に無のない地方議員を騒がしているが、果たして、そんなに浮かれていいのだろうか。

「国際大会」に「国際」あれば「国内」と、昔の言葉もいま、復活しつつある。「国際」と言えば、世界との共存共栄、企業理念を考えてみるべきではなかろうかと思います。

編集担当者・岡野義弘（やたがらす・ユニット青森商工会議所青年部・青森商工会議所、四十八歳）

二月一日早朝、静岡県理事の松谷、高橋両氏からの電話をうけました。ご苦労様でした。ご苦労様でした。

編集だ、この機関紙「翔生」を通し、全国の青年部のメンバーと少しでもお会いできればと思います。本部事務局とも協議いたしました。編集委員会の皆さん、事務局の方々に対して厚くお礼を申し上げ、編集後記とさせていただきます。ありがとうございました。（広報委員長・小林勝彦）

商工会議所青年部の設置状況

（平成2年2月28日現在）

ブロック（支部数・単位）	都道府県名（会員数・単位）	青年部設置商工会議所（74）	青年部設置商工会議所（未定）
北海道ブロック（1支部・1単位）	北海道（10）	旭川、釧路、北見、帯広、室蘭、函館、苫小牧、岩見沢、滝川、江別（10）	留萌、稚内（2）
東北ブロック（11支部・11単位）	青森（3） 秋田（3） 山形（1） 岩手（1） 宮城（1） 福島（2）	青森、弘前、むつ、十和田（4） 一関、盛岡、北上、八幡平、大船渡（5） 秋田、能代、大館（3） 山形、酒田、鶴岡、米沢、新庄、寒河江（6） 盛岡、宮城、仙台、石巻、気仙沼、白石（6） 福島、郡山、会津若松、いわき、相馬、二本松（6） （34）	青森（1） 秋田（1） 山形（1） （3）
北信越ブロック（11支部・11単位）	新潟（3） 長野（3） 富山（1） 石川（1） 福井（1） 山梨（1）	新潟、長岡、三条（3） 長野、上田、飯田（3） 富山（1） 金沢、能登、小松、加賀、野々市（5） 福井（1） 甲府（1） （14）	（0）
関東ブロック（19支部・19単位）	埼玉（3） 茨城（3） 栃木（3） 群馬（3） 千葉（3） 東京（3）	浦和、大宮、川越（3） 水戸、土浦、日立（3） 宇都宮、佐野、足利（3） 前橋、高崎、太田（3） 千葉、市川、船橋（3） 八王子、三鷹、小金井、調布、府中、立川、青梅、町田、武蔵野、東大和、東村山、国分寺、小平、東久留米、狛江、多摩、日野、稲城、武蔵村山（21） （57）	上尾、熊谷、春日部、所沢、新座、鶴ヶ島、入間、狭山、飯能、坂戸、鴻巣、行田、羽生、加須、秩父、東松山、熊谷、伊奈平、鴻巣、吉川、越谷、草加、三郷、八潮、市川、浦安、鎌ヶ谷、柏、我孫子、流山、佐倉、成田、八日市場、銚子、木更津、君津、勝浦、鴨川、館山、富津、安房、佐原、東金、茂原、大網白里